

19年 毎日映画コンクール

男優助演賞受賞に笑顔を見せる吉澤健



吉澤健

男優助演賞

「風待ち」

香取慎吾(42)主演の「風待ち」で男優助演賞に輝いた吉澤健(39)は、「毎日映画コンクール」に輝いた吉澤健(39)は、

ベテラン胸張る引き出しの多さ

10年後に出演作 全て見てみたいと思われる 役者になりたい

男優主演賞に輝いた成田凌が柔和な表情を見せる(撮影:大塚 徹)



照明監督の褒め言葉に感激

(鈴木 一)

成田凌

男優主演賞

2019年毎日映画コンクール(第74回)の各賞が21日、決定した。国際ヒアノコンクールを舞台に4人のピアニストの心模様を音楽で映し出した石川慶監督(42)の「蜜蜂と遠雷」が日本映画大賞に輝いた。男優主演賞は「カツベン!」の成田凌(26)、女優主演賞は「新聞記者」のシム・ウンギョン(25)が受賞。田中絹代賞には風吹ジュン(67)が選ばれた。表彰式は2月13日、川崎市のミューザ川崎で行われる。【新人賞は社会面】



男優主演賞に輝き 受賞の喜びを語る

大突き進む 大物俳優の道

大正時代、無声映画の語り部として絶大な人気を誇った活動弁士を主人公に日本映画の黎明期にめいめい期を描写した「カツベン!」。オーディションで、弁士に憧れる青年・染谷俊太郎役を勝ち取った。周防正行監督(63)からのリクエストは「じゃべりのプロになったか」との一点だった。 「日本人でも、ほとんどの人がカツベンを知らない。初めて見るカツベンが僕になるので、プレッシャーでした。僕が頑張れば頑張るだけ、カツベンが普及するのだから、人気がなくなるとは聞きやすすかった」と太鼓判を押した。ベテラン照明監督の長田達也氏(67)からは「主演になっては、主役にならないうれしいことにはなかった。涙が出そうになって、その言葉は一生忘れません」としみじみ話す。 昨年は出演作が6本公開され「愛がなんだ」(2)と「よなごころ」(2)でそれぞれ助演賞の候補にもなる大躍進。それでも、以前は憧れの俳優を聞かれても「いいえ、今後は逆。皆、すげえ。共演した人が増える度に、憧れが増え続けています」と貪欲だ。 今年も主演の「弥生、三月」君を愛した30年「」など既に5本の公開が控え、勢いは止まらない。 「10年後にレンタル店などで、成田凌の欄を全部見たいと思ってもらえるような役者になりたい。そのためのチャレンジは続けていきたいですね」と未来像を語った。

自分に厳しく何事も一步一步

風吹ジュン



受賞の喜びを語る風吹ジュン

田中絹代賞

アイドルから女優への転身。その第一歩がTBS「寺内貫太郎一家2」(75年)だった。「脚本の向田邦子さん、演出の久世光彦さん、そして樹木希林さんと加藤治子さん。この4人との出会いが私を導いてくれました。続けてきて良かった」と、時に涙しながら喜びをかみしめた。 日本テレビ「前略おふくろ様II」(76~77年)では絹代さんとならぶ。絡みの場面はなかったが、「自然体でいて存在感の凄い方」と印象を口にした。

「す」と述べ。表彰式で山田洋次監督(88)と出会ったのが縁で、今度は「家族はつらいよ」シリーズなどへの参加につながった。 昨年10月に永眠した八千草薫さんの代役としてテレビ朝日「やすらぎの刻〜道」に出演中だ。「(『前略...』)の倉本聰さんの脚本です。役に立たないうちから、役を継いでいくという状況で、03年に絹代賞を贈られた先輩も天国から見守っているだろう。 60歳を過ぎて始めた山登り。昨年7月には剣岳(標高2999m)の頂に立った。「自分に厳しく...」です。できないことはないぞと。何事も一步一步」と前を向く。

毎日映画コンクール表彰式

2月13日 市幸区の「ミューザ川崎 光のブリッジ」です。 受賞者たちの喜びの姿を 観覧できます。 【テレビ放送】BS12 トゥエルビで3月1日(日)午後4~5時に表彰式の模様を放送します。 どうぞご期待ください。

Table with award names and winners: 日本映画大賞 (蜜蜂と遠雷), 脚本文学賞 (順治「半世界」), 男優主演賞 (成田 凌「カツベン!」), etc.

Advertisement for TSUTAYA プレミアム DVD rental service. Text: DVDレンタルも、動画配信も、エンタメがまるごと定額。月額1,100円(税込)

